

## 環境報告書

環境方針(環境理念・行動指針)……………	46
環境問題への取組みのあゆみ……………	47
推進体制……………	47
14年度の取組み……………	48
14年度の主な環境目標と実績……………	50
15年度の主な取組み……………	50



## 環境報告書

長野県は豊かな自然に恵まれており、こうした自然環境と共存し資源循環型社会への転換をはかることが企業や個人にとって重要なテーマとなってきています。

当行は、資源を消費して事業活動を行う企業の義務として、省資源・省エネルギー活動などを通じて自らの環境負荷の低減に努めるとともに、金融商品・サービス・情報等の提供により、持続可能な地域社会の形成にお役に立てるよう取り組んでおります。

### 環境方針(環境理念・行動指針)

## 八十二銀行環境方針

### 環境理念

八十二銀行は、資源を消費して事業活動を行う企業の義務として、環境への負荷の軽減に努めます。

八十二銀行は、環境保全活動をつうじて持続可能な地域社会の形成に寄与します。

### 行動指針

1. 企業活動が環境に与える影響を的確にとらえ、環境目的・目標を定め実施し、定期的に見直すことで汚染の予防に努めます。
2. 環境に関連する法律、規則、協定などを遵守します。
3. 省資源・省エネルギーに努めます。
4. 金融商品・サービス・情報の提供をつうじて環境保全に取り組むお取引先を支援し、地域社会の環境の改善に資することを目指します。
5. 全役職員一人ひとりが、環境問題に関する認識を深め積極的に環境保全活動に取り組めます。

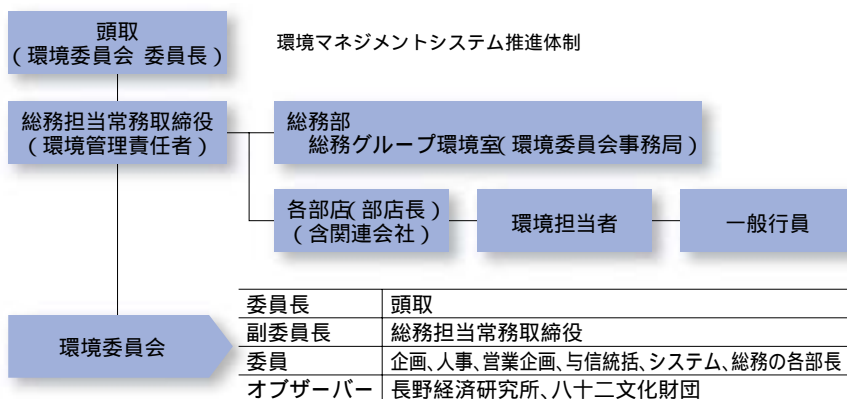
～この環境方針は、内外に公表します。～

## 環境問題への取り組みのあゆみ

- 平成 4 年 5 月 / 銀行界初の「古紙の回収・再生・利用」の一貫システムを構築(ニッキン賞受賞)
- 平成 10 年 2 月 / 行用車にハイブリッドカーを導入
- 平成 10 年 7 月 / 当行の環境問題への取り組みを企画・検討する横断的組織として環境委員会を設置
- 平成 11 年 3 月 / 本店ビルにおいて地方銀行初のISO 14001の認証を取得
- 平成 12 年 3 月 / ISO 14001の認証範囲を当行別館に拡大し、当行の関連機関である長野経済研究所、八十二文化財団を対象に追加
- 平成 13 年 3 月 / ISO 14001の認証範囲を諏訪市内店、下伊那地区内店に拡大
- 平成 14 年 3 月 / ISO 14001の認証範囲を国内全部店に拡大
- 平成 14 年 4 月 / 「環境室」を設置
- 平成 14 年 9 月 / サステナビリティ(持続可能性)ファンドや環境関連ファンドの指標として使用されているダウジョーンズ・サステナビリティグループ・インデックスの銘柄に当行株式が12年度から3年連続で採用。(世界約310社中、日本企業37社うち邦銀は当行のみ)

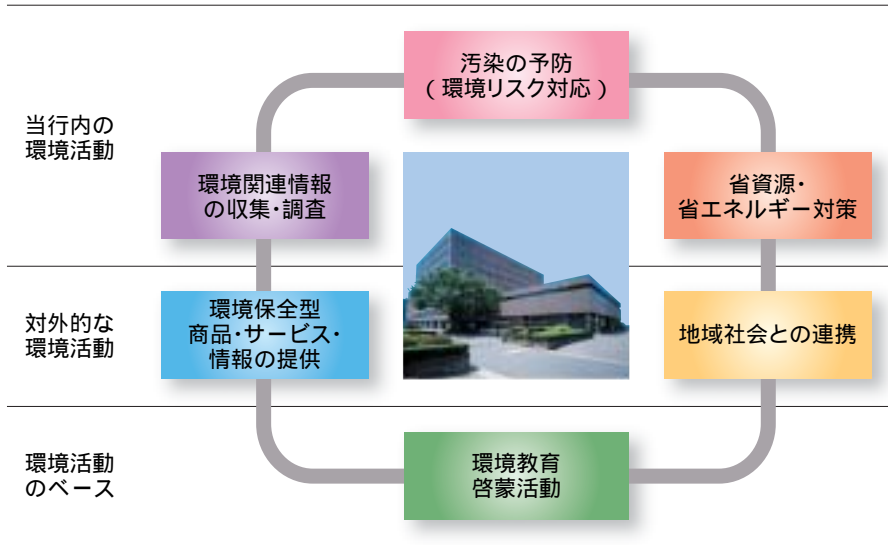
## 推進体制

ISO 14001の全店拡大により、活動拠点数は175(営業店:146、地区センター:7、本部:18、関連会社:4)対象人数は5,000人強となっています。より効果の上がる活動とするため、環境問題に対する全行的な取組方針を組織的に企画・検討する環境委員会を設置するとともに、部店ごとに推進リーダー(環境担当者)を配置するなど、全役職員の力を結集し取組んでおります。



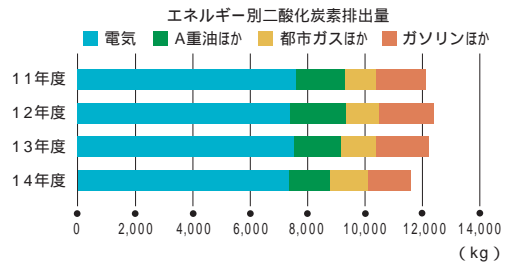
## 14年度の取組み

14年度は、ISO 14001 を国内全部店に拡大した初年度ということもあり、環境マネジメントシステムの定着化を目的に活動を推進しました。各店で、「環境目標」を設定し環境問題に対する意識を高めるとともに、「汚染の予防」、「省資源・省エネルギー」、「環境保全に取組むお客さまへの金融商品・サービス・情報の提供」、「地域貢献」などに取組みました。また、家庭でも環境活動を促進するため、「家庭でできる環境活動」を「環境目標」に加え全役職員とその家族が活動しました。



### 地球温暖化問題への対応

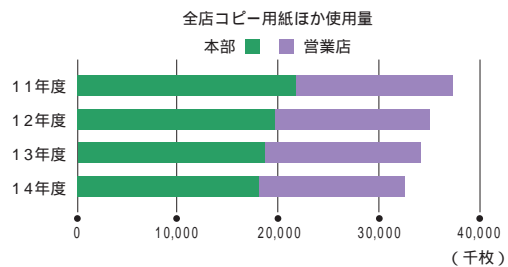
設備改修時の省エネルギー機器への更新や、館内冷暖房の適切な温度コントロール、地道な照明の節電など、行員一丸となって省エネルギーに努めました。全行をあげて省エネルギーに努めた結果、総エネルギーのCO<sub>2</sub>排出量は前年度に比べ4.6%削減しました。



### 紙使用量の削減とリサイクル

イントラネットのレベルアップを進めペーパーレス化に努めるとともに、両面印刷や利用済み用紙の裏面を再利用することを徹底した結果、紙の使用量を前年比4.4%削減しました。

平成4年より使用済み用紙のリサイクルにも取り組んでおり、再生されたトイレトーパーやティッシュペーパー等を行内等で利用しております。



### 環境保全型ローンの推進

環境保全型融資商品をお客さまにご紹介、PRした結果、実際に当行の融資商品をご利用いただくことができ、ご融資を通し地域の環境保全にも貢献しております。

### 14年度環境保全型ローン実績

ローン商品	件数	実行金額(千円)
エコメリット	73	108,380
ニューウェーブ	2	15,000
下水道ローン	407	306,730
ソーラーローン	15	28,270
県環境対策制度資金	10	342,868
合計	507	801,248

### 環境ロビー展の開催

営業店では、環境ロビー展を開催し、当行の環境保全活動の取組みなどの紹介を通し、多くのお客さまに環境問題について関心を持っていただくよう努めました。



### 環境教育

マニュアルや教育用ビデオにより、環境マネジメントシステム全般に関する教育を実施しております。

新入行員には、研修の中で環境教育を実施し「ISO 14001 と当行の環境活動」に関する研修の機会を設けています。

### 地域貢献活動および環境コミュニケーション

#### ・社団法人長野県環境保全協会の活動への支援

設立5年目を迎えた社団法人長野県環境保全協会への資金面での支援をつうじて各種環境保全事業、啓発活動への支援を実施しております。

#### ・環境保全活動への参加

地域環境保全のための活動に、ボランティアとして役職員が参加しました。

#### ・クレームへの対応

環境に関するクレーム(苦情)はありませんでした。

### 主な環境保全活動への参加

環境保全活動
諏訪湖アダプトプログラム
風越山清掃登山
蓼科高原みどりのアプローチ
長野県木と緑のふるさとフェア
その他市町村主催の植樹・ゴミ拾い

### グリーン購入

環境に配慮した文具品を購入するため、「82 Greenカタログ」を作成。当行内の文具品購入を一元管理しております。



### 汚染の予防

重油等使用設備の定期的な訓練・点検を実施しており、事故発生件数は0件でした。

## 14年度の主な環境目標と実績

分野	環境目標	実績	担当部門
省資源(紙)	コピー用紙、還元帳票等用紙使用量合計、10年度(ISO取組開始年度)比2.0%削減	10年度比 12.0%	全部店
	ペーパーレス化計画の実施	・用紙220万枚の削減 ・情報の電子化 など	システム部
	規程・基準の電子化	用紙50万枚の削減	企画部
	為替OCR処理の改善による、コピー用紙使用量の削減	前年度比 62.4%	本店センター
省エネ(電気)	電気使用量を10年度(ISO取組開始年度)比1.5%削減	10年度比 4.7%	全部店
汚染の予防	設備関連の緊急事態(事故)・法規制違反の発生0件	緊急事態・事故・法規制違反とも無し	総務部
	営業車両30台の削減	38台削減	営業企画部
行内向け環境情報の発信	与信上の環境リスクについて情報収集と与信管理への反映	情報を収集、来年度以降検討を本格化	与信統括部
	審査の観点からみた環境に関する情報発信	「土壌汚染対策法が成立」、「建設リサイクル法施行」、「焼却炉を巡る問題」等を産業情報に掲載	審査一部
顧客支援 情報提供	お客様の環境保全に資する金融商品・サービスを提供するとともに環境情報を発信する	・環境保全型ローン(エコメリット、ニューウェーブ、下水道ローン、ソーラーローン、ISO取得用制度資金等)をお客さまに紹介 ・EB等(インターネットバンキング・テレホンバンキング・ネットEB等)をお客さまに紹介 ・環境口ビー展を開催	営業店
	ISO14001認証取得のためのコンサル実施	7社のコンサルティング契約締結	長野経済研究所
	環境をテーマとしたPR活動の実施	年間を通しショーウィンドウポスターにより当行環境活動をPR	営業企画部

## 15年度の主な取組み

環境保全活動をより一層促進するため、次のような環境活動を推進してまいります。

- ・省エネルギー(電気使用量削減)..10年度比(ISO開始年度比) 5.0%
- ・省資源(コピー用紙使用量削減)..10年度比(ISO開始年度比) 10.0%
- ・家庭のできる環境活動...役職員の各家庭で環境活動を推進
- ・環境保全に取組むお取引先の支援
- ・業務改善を通じた環境負荷の軽減
- ・環境教育・地域貢献の実施